

令和6年度 第3回川崎市社会教育委員会会議麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和6年12月10日（火） 午後2時0分～午後4時15分

■出席委員 麻生区地域教育会議議長（部会長）	井上 俊夫
市民委員（副部会長）	濱田 富美恵
麻生区町会連合会常任理事	岡倉 進
市民委員	田澤 梓
和光大学現代人間学部非常勤講師	角田 季美枝
麻生市民館サークル連絡会副会長	平出 圭子
麻生区文化協会副会長	横川 博行
川崎市麻生中学校長	金子 三弘
（欠席）麻生区PTA協議会副会長	前村 嘉昭

■事務局 麻生市民館 相澤館長、管理担当 内藤係長、社会教育振興係 松本係長、石田

■傍聴者 2名

■議事

（1）令和6年度の主な事業・工事予定について

事務局（松本係長、内藤係長、相澤館長）

資料1に基づき説明

岡倉委員

先日市民館ホールを使用した際、舞台スタッフさんの対応が非常によかった。ただ、照明やプロジェクターが古いと感じ、新しいものに変えてもらえればさらに楽しい舞台になる。

事務局（内藤係長）

照明は7年前に変えたが、現在メーカー推奨の変更時期である。また屋根の改修が令和11年度にある予定でそのタイミングでできないか調整していく。プロジェクターは今まで意見がでたことがなかったため今後検討していく。

角田委員

11月30日に図書館の市民自主企画事業に参加した。関連の図書をブックトラックで持ってきてくださり、図書館と連携できてよかった。参加者約50名の中で「図書館を利用している人」はたくさんいたが、「市民館を利用している人」はほとんどいなかった。例えば、来年度、社会教育振興事業で講談入門講座みたいなものに繋げてみる、図書館に置いてあるCDやDVDを見てみる等、もっと図書館と市民館の連携ができれば良いなと思った。

事務局（松本係長）

落語をやりたいという人が大勢いるため落語講座をやってみるなど、市民の声やニーズを拾

い集めて企画に活かすことは今後もやっていきたい。

(2) 令和6・7年度協議テーマの選定について

井上部会長

資料2に基づき、前回出した協議テーマの振り返り。

昨年度は中庭スペースの活用をテーマにしたが、ひと箱古本市は良い企画だった。2、3回目はどうしていくのか。

事務局（松本係長）

先日ひとのお事業において、中庭でオカリナ講座を実施した際、近隣の住民から苦情が入った。人の話し声等についても指摘があったこともあり、中庭が民家に面しているため、そこで事業を行うのは難しいかもしれない。

角田委員

子育てフェスタのようなたくさんの人が来るイベントで利用すれば目立たないのではないかな。

事務局（松本係長）

日常的にそういうことがあるとうるさいと思っていらっしゃるようで、イベントだから良いとは限らないようだ。

角田委員

そういった意見があると分かって良かった。中庭は区役所の祭りやイベントでも使っているため、もう少しイベント関係者や周りの人たちと協力できないかと思う。

井上部会長

場所をどうするのかも踏まえて一箱古本市をやる方向で進めるのか、次回は市民自主提案会のため次々考えたい。

角田委員

4月から夏の企画を考えるのは大変だと思う。話し合う必要があれば臨時で開いてもよいのでは。年4回でそのうち2月は市民提案会で議論ができない。対面が難しいのであればZOOMで実施する等柔軟な運営ができたらと思う。

井上部会長

前回6つのテーマを挙げたがいかがでしょうか。

角田委員

6つ以外に、専門部会は指定管理者が参加するため「専門部会ってどういうものか」議論した方がよいと思う。例えば市民の意見を積み上げて議論ができるのか、議論の回数はこれでよいのかも含めて、指定管理になってからも専門部会は続いていくため議論すべき。

事務局（松本係長）

社会教育を知らない川崎市職員が配属された時のために、職員も事業や会議に積極的に参加するように、内部向けのマニュアルを作成している。

岡倉委員

前回の会議で、「専門部会は事業について審議・調査する」と話があった。文化協会やサークル連絡会の方がいらっしゃるので、そういった関係団体の課題を調査し、実際に問題があれば検

証して提案してみることができるのではないかと思います。また、麻生市民館は料理室と児童室の利用率が他の館と比べて非常に低い。利用状況を分析し、課題を出してみるといったことも考えられると思う。

井上部会長

これまでシニア・若年層の利用向上等考えてきたが、中々実行できていないように思う。

濱田副部長

児童室は単体で利用できない。保育付き事業を実施する時のみ利用できるため利用率が低い。

保育所に行っているお子さんが多いし、保護者も働いている方が多いため、使う機会がない。

角田委員

料理室は他の会議室より使用料が高い。料理サークルがあったとしても利用しにくいところがあるのでは。〇〇カフェみたいな感じで使えないかなと思う。

井上部会長

テーマの選定について課題の重要性、緊急性、できることとできないことを基準の一つとして考えていただければと思う。

平出委員

「事業・講座を企画する際のルール化の検討」はどこから出てきたのか。

田澤委員

前回の摘録の３ページ目の岡倉委員の意見ではないか。

岡倉委員

市民館とそれぞれの団体の約束事みたいなものが、暗黙の了解でやっていると指定管理者が入った時に大丈夫なのか不安である。

事務局（松本係長）

指定管理者制度に移行するまでに各団体と市民館の間で決めておく。また、気軽に立ち寄って職員と会話することができなくなる可能性があるため、来年度中に職員の方で各団体と市民館の関係性を調整していく必要がある。

角田委員

利用者同士で会話できる場が少ない。指定管理になったら利用者懇談会を年一回以上やってくださいと教育委員会は言っているが、何回やるかはわからない。また、市民自主や社会教育事業に入ってきた団体ではなく、個人で来た人が市民館はこんなことをやっているのか知る機会になる。それが専門部会の審議・調査にもつながるのではないかと思います。

事務局（松本係長）

市の職員が同じ予算の中でできないことを指定管理者に上乗せしてやりなさいとは言えない。

指定管理になってやってほしいことは来年度中に実施しておく必要がある。

角田委員

指定管理は重要性、緊急性両方満たしていると思うが、どういう風に議論していくべきかイメージができない。

濱田副部長

緊急性の観点からだと、市民館と団体の関係以前に、団体内の問題を考えないと、団体にとつ

て市民館との関係は見えにくいのではないかと。

角田委員

団体内の問題を専門部会でどう議論していけばよいかわからない。団体の中で世代交代ができないという問題に立ち入ってよいのか、市民館に若い人が来るようにすれば、その若い人たちがサークルに入るのかもわからない。各団体に今何を問題として抱えているか調査するところから始めて、それが本当に専門部会で議論できる話題なのか考える、といった感じですか。

濱田副部長

テーマの中の優先順位を考えた時に、各団体と市民館の関係性やルール化は後回しになるのではと考えた。

平出委員

サークル連絡会は市民館に質問や意見がある場合は出してくださいという場がある。また、団体内の問題を市民館に言うのは違うのではないかと。若い人たちが足を運べる市民館にするためにはどうすればよいのかと、どうやってこのサークルに若い人を入れるのかは別々で考えるべき。

岡倉委員

サークル連絡会の会員サークルは増えているのか。市民館だよりでも見ないが、増えていないのであれば市民館との連携ができていないのではないかと。

平出委員

サークル数は増えている。増えすぎているためサークル祭を2日間で実施できないことが懸念されている。七夕の時に図書館前に短冊を置いたら、たくさんの人に書いてもらった。あそこで広報するとたくさんの人の目に入るとし、目安箱ではないが、市民館に要望がある場合、市民館宛にお手紙を書いてもらうようなことがあると良いなと思った。

横川委員

指定管理になったらどのような経済的効果があるのか、経営面を知らずに議論している。委員としては経営的なこともわからずに議論してよいのだろうかと思っている。

事務局（松本係長）

指定管理者が担うのは社会教育振興事業と軽易な工事のみ。大規模工事は区役所側が担う。指定管理はプラスアルファで料金をとる講座を実施するかもしれないが、今までのものはしっかり残る。

角田委員

社会教育振興事業やサークル活動は減らないということでよいのか。

事務局（松本係長）

公の施設であることに変わりはないし、これまでやってきた事業がなくなることはない。参加者が少ないからといって普遍的課題事業等やめることもない。

角田委員

以前高津市民館の指定管理説明会に行ったら、社会教育振興事業は生涯学習財団が担当するという話で、現在高津市民館がやっていない平和人権男女平等推進学習の市民参加の企画委員を募集すると言っていた。指定管理になることで社会教育振興事業自体も充実する可能性がある。経費を削減できただけでなく市民参加が充実していることをどのような指標で評価するのか難し

い。

事務局（相澤館長）

受託する指定管理者は、管理部門、図書部門、社会教育振興事業それぞれの分野が得意な会社が連合して提案してきている。また、こちらから年間の維持管理等にかかる金額を提示し、その範囲内で提案するというやり方で行っている。

田澤委員

専門部会が各事業の評価をするところだとするならば、その評価の仕組み作りや、どのような運営であれば麻生区らしい市民館になるのか等、共通の指標があれば良いかなと思う。

金子委員

10月に車座集会に参加した際、新百合ヶ丘の開発について麻生中学校の中学2年生生徒会役員4名が色々な意見を言っていた。「駅北口が暗い、怖いから何とかしてほしい」という単純な意見だったが、そういう発想が大事だと市長が言っていた。小中学生を含め、色々な世代の方が安心して使える市民館について考えていきたい。

事務局（松本係長）

先日、西生田中学校の職場体験があり、社会課題を解決するための企画作りをした際、小中学生しか楽しめない事業になってしまったため、大人でも楽しめるような事業にしようと中学生から意見があがった。中学生が考えた事業を実現させるためにPTAに話をしている。今年度あと2校くるが、学生たちが作った事業を実施することでPTA協議会や地域教育会議等を巻き込んだ多世代交流につながると考えている。

岡倉委員

どんな市民館にしたいかはテーマにできないと思う。「市民館の在り方」について提言されており、それを実現させるために指定管理者制度が導入されるため、専門部会で今後の市民館について話し合うのは違う気がする。

角田委員

「市民館の在り方」はすごく抽象的。また、どんな市民館にしたいかではなく、指定管理を含め、どんな麻生市民館であつたらよいかは話し合っていないと指定管理者に伝えられない。

事務局（松本係長）

市民からの意見により、3階に学習スペースを設置したがたくさんの学生が利用している。図書館で座りきれない人や居場所が欲しい人のために設置してみたが、それなりの効果を発揮した。気軽に集まってお喋りできたり、交流できたりするところが良いよねとなった時、じゃあその場所をどうやったら作れるのか等、もっと身近なことを考えてもよいと思う。

平出委員

指定管理に移行するための1年というところが重要だと思う。そこに繋いでもらいたい、伝えてもらいたいということが、委員会の理想のあり方だと思う。

井上部会長

タイミングを考えれば、指定管理を頭に入れながらやっていかないといけない。

角田委員

指定管理になったらどう変わるのか、どのような効果がでるのか専門部会委員の共通認識を持

つところから始められたら良いと思う。指定管理者がどういうやり方であってほしいのか考えた
いが、どう話し合ったらよいのかわからない。また、市民館だよりに実施報告が載っていないた
め、何をやったのか、どんな風に人と繋がったのかわからない。どうすれば市民館のことを知っ
てもらえるのか話し合って、指定管理者に伝えられたら良いと思う。

岡倉委員

「市民館の在り方」には実施計画がない。どうやって実現させるかが書いていない。

角田委員

例えば、麻生市民館ではこういう計画を3年くらい立ててほしい、というようなことを話し合
えたらと思う。

事務局（松本係長）

評価基準が決まっていたとしても中身については必ず賛否両論がある世界だと思っている。目
に見えないものの評価が難しい業界であるため、明確な評価基準は作れないと考えている。

岡倉委員

中々まとまらないため、委員長と事務局が話し合い、後日まとまったものをメールで送ってそ
れについて意見を出し合うのはどうか。

井上部会長

メールでできれば一番良い。

角田委員

指定管理についてちゃんと学ぶことを始めにするのはどうか。川崎市の中で具体的に指定管理
とはどういうものか、今何をしようとしているのか少しずつ見えてきているため、そういったこ
とを共有できたらと思う。

井上部会長

指定管理になったらどう変わるのかクリアにすれば、次の課題が出てくるのではないかと思う。

岡倉委員

市民館の管理のことや、どこが事務局なのか、指定管理はどこを担うのかわかる資料をもらえ
ないか。

井上部会長

そのような資料を配って、各自持ち帰って、次回それについて話し合うところからスタートす
るのはどうか。

事務局（松本係長）

まずは市民館側が、指定管理について提供できる資料をお送りする。それに目を通していただ
いてメールで議論していただく。

角田委員

他市であれば資料を提供できるものがある。

岡倉委員

川崎市が知りたい。中原と高津の事業者団体の提案書を見たい。

事務局（松本係長）

公開されている資料の中から、参考になりそうなものを提供する。

井上部会長

委員のメールアドレスを共有する。金子委員のみ事務局から転送する。

角田委員

資料は川崎市のだけか。論文とかがあればメリットデメリットがより明確になる。

岡倉委員

とりあえず川崎市の資料、その後に他市のものでお願いしたい。

(3) その他

角田委員

以前から何度も申しているが、専門部会の活動報告書を市民館のWEBサイトに公開してほしい。また、市民館だよりも掲載してほしい。図書館には貸出用と閲覧用で置いてほしい。情報プラザに行かないと見られない。議事録や資料もすぐ公開してほしい。なるべくオープンにしてほしい。

事務局（松本係長）

検討する。

井上部会長

次第に記載の次回の予定について。場所は後日。

以上